



旋風 37

生活改善について

十年前、バストスでも生活改善十ヶ條なるものを打出し、婚冠葬祭などの華美行き過ぎに警告を發したことがありましたが、一時は嚴守された様子ですが、時代の移り変りが激しく、いつの間にか次第に派手となり、ここに再び警鐘を鳴らさなければならぬような風潮となつた模様と見受けられます。

去る八月九日の文協理事代議員合同会議の席上、とりあえず、
 婚禮の祝儀は 五新クルゼーロ
 葬式の香奠は 一新クルゼーロ
 と右二案の賛同を得ましたので、在住者各位へおしらせ致しますが、尚もつとよい案のある方は御提案下さい。同会議の席上、日本の新生活運動の話をされた方がありました、それによると、宴会は会費制としたり、料理の持ち寄りや、調度品進呈の例もあり、結婚宴には両親がタツチせず、若い世代にまかせるという新しい事例もあつたようです。

しかし、正史の浅い伯国コロニアに於ては、こうした改善に誰が音頭をとるか、が問題となります。フラ拓内部とか、組合商社の内部ならば、然る可く改善も出来ましようが、又、シヤカラ区が、かつて四五回実施したような会費制などという思い切つた新機軸を打出すことも出来るでしようが、これらの諸点について皆様の御一考を御願いたします。

近頃のような物価高では結婚へ披露宴に費やす金は少なからぬものであります。必ずしもすべて冗費とは申されませんが、金が糸目を吝まらず旅手になされる家もあり、自由だとおっしゃいます、これが一つの風潮となり、他家もそれを前例とするのが人情で、その為め次第に悪く去れば、贅澤な傾向を帯びて参ります。

シヤカラ区で考案した会費制は立派なものですが、これには全區の婦人達の献身的な奉仕を伴います。密集した地域なら都合もよいでしょうが、広散したシヤカラ区では、云う可くして行われぬ事情も起つて来ますので、どこでも実施ができません。というのではないという批評もききました。

第九〇六号
昭和四十二年
九月十五日
発行

DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA

RUA PRES.
VARGAS 188
CAIXA POS. 112
FONE 40
BASTOS
C. P.

ANUAL
N. CR #
7.00

HOTEL USSAMI



お泊りとお食事
御宴会に
御仕出しに

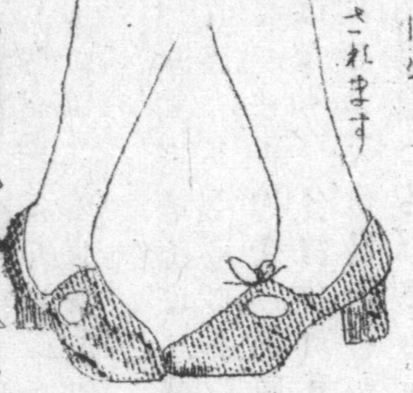
うさみの寿し
名物鯉料理
ブラジル食

うさみ
ロードピアリオ前
電話 二二二

Sapataria Bastos

FONE. 55.

ミニサイアには特に
靴の美しさを要求されます
あなたに服装に
似合った靴
新しい魅力が
生れます
靴のことなら



早川靴店
電話 五五五

以上は、文協会のメモから綴つた生活様式改善の一ペダツンですが、祝儀、香奠の額を一律にすることを例外を除いては結構と思ひます。祝宴を専門家の手では結構と思ひます。この頃では前記の額では足りないでしようし、この問題は誠にむずかしい課題ですが、「生活様式改善」というからには、当事者は少々矢面に立つて構える勇氣も必要でしよう。又招客の例も

かれこれ宴席の批評をせず、招家に協力してあげる同情も必要でしょう。

系音

バストス日伯文化協会と

バストス人は一体である

バストス日伯文化協会という合法団体がある。これはバストス人の親睦、連絡、向上を目標とした文化団体であるが、バストスに住居するすべてのバストス人の協力に、まつものであることはいまでもない。すなわちバストス人の総意によって文化協会という団体が成立しているのである。バストスの前進のために必要な機関をバストス人が作っているわけである。

子供に去ってきかせるような字句をなべて申わけないと思うが、国民あつての国家であることが現代の法文乃至常識であるから、一応その線から物申すことにしよう。

前述の成長過程をもつていゝるバストス文協が、必要に迫られて総合会館の建設を立案したが、従来の大事業であるからバストス。衆智を集めて委員会を作ること、を考案した。四五万コントで出来る会館なら、文協現在の役員だけで事足りるであらうが、予算、十七、八万コントを要することとなる。現在の限られた役員だけでは荷が重すぎる。よろしく総動員式態勢を固むべし。となつたのである。故に、バストスに縁故の深い在聖有名入などを賛助員とか、顧問とかに推戴し、バストスを中心には縁故者乃至至団体にもよびかける構想に発展したのは当然のことと思われる。

従つて、建築委員会に名を連ねる人は、二百数十名の多きものほつた。そして、草々しく募金運動が始まつたのであるが、不幸なことに「稀有」の不在に遭遇し、所期の募金に支障を来たして今日で約十ヶ月定踏状態にあつたようである。しかし、バストス開植四十年事業と謳っているので、来年までには、出来るだけ建築を進捗せねばならず、去る八月下旬から、すでに委員会（臨時總會をも含め）は三回以上の集会を行つてい

る。恰どその頃（八月十三日）週報紙上に建築委員会は文協今下にあるものだといふ意味の事を書いたことがあつたが私の所見では、文協今下というのは、文協内の理事会とか、代議員会を測にとつたのではなく、文協の手から全く遊離した別個の団体ではないことを指摘したのである。

1. 委員数が二百数十人という大世帯だから、文協とは別個のものだという考察は、あやまつていゝる。
2. 文協の役員も勿論建設委員に名を連ねているが、理事会の席上「話として建設問題は出て、建設委員会」をしたことはない筈。一々建設委員を招集している。

3. 建設委員会は、文協の名に於て誕生した特殊なセツソンである。産業、文化、衛生等というようないセツソンの建設を担当する理事ではなく、総合会館の建設を担当する一セツソンである。人数が多いから別個な独立的存在であると考えるのは法的根拠を知らぬ人の言である。

4. 尚建設委員会は目的完成後は、時機を見て解散する性質のもので、永久的存在ではない。従つて委員会建設した会館の保有権はなく、会館の所有権は勿論、バストス日伯文化協会であり代表者何某として登録されるべきものである。建設は勿論独立会計であるから、基金は建設事業にのみ使用されるのは当然の事である。以上、私が（八月十三日付）週報に書き足りないため、反駁論が起つたようであるから、付言して一応しめくりをつけることにする。

尚、M氏反論中「総合会館は、文協の事業部理事の〇〇〇〇の手におえぬ。大事業であるから去々」は、筆者の肚では大事業の形容詞のつもりであるが、名指で形容された人は、馬鹿にされたと感じるであらうから、ああいう刺戟的表現はせぬ方がいい。百害はあつても一利にはならないからである。

事業部の一人や二人で出来ることか、出来ぬことか考えて見る道もない。すると悪意で揶揄したと取れぬこともないではないか。そして、委員会が文協の翼下にあるとかないとかで議論しても始まりは、M氏のように、どう信じている人は、その置で協力してよいのである。そのために別不都合は生じないであろうが、会館の所屬が委員会の存続について将来論議が起らねば、この上、議を才わす必要はないであらう。

尚、私とM氏との間は少々論議しても、何らさしさわりのない仲だが、一言一言を捉えて反駁するのも兎戯に等しく、他に弁士が介入してくると感情的になる怖れなきにしもあらず。先ずこの辺で処置問題の対論は一応終結することにす

系音

真夜中の夜室魚かして揺られる野火はあめつらの怒りにも似て

勝浦

お話大会は大成功

去る九月三日、汎パウリス夕日語普及会主催で、ツパン（聖徳、ルンビニ）バストス、アダマンチーナの四校から選手が出で、大いに雄弁を競った。場所はバストス生長の家会館、午前九時四十分から開始、午後四時半迄延々六時間（中食一時間休憩）幼稚部、幼年部、少年部、A日、中等部に分れて、総勢八十名、思い思いの所感をのべて、将来の雄弁家を思わせた。

当日の成績は左の通りであった。

幼稚部	1位 高野とし子	アダマンチーナ校
	2位 西谷剛	ツパン聖徳学院
	3位 松岡千代子	アダマンチーナ校
幼年部	1位 水島千代子	ルンビニ学院
	2位 武藤美美子	ツパン聖徳学院
	3位 松岡百合子	アダマンチーナ校
少年B部	1位 高崎美津子	アダマンチーナ校
	2位 新谷弘	アダマンチーナ校
	3位 坂部充平	ツパン聖徳学院
少年A部	1位 松尾睦	アダマンチーナ校
	2位 中浦照明	バストス日語学校
	3位 伊藤弘子	ツパン聖徳学院
中等部	1位 古賀清美	バストス日語学校
	2位 松尾直美	アダマンチーナ校
	3位 大城芳子	ツパン聖徳学院
団体優等	総合得点	七三〇・七六七
	アダマンチーナ校	
	ツパン	七三二・八二二
	ツパン聖徳学院	
	バストス	六四二・七二八
	バストス日語学校	
	ルンビニ	五三二・五八〇
	ルンビニ学院	
個人賞最高得点	五二八・八二二	少年Bアダマンチーナ校
	新谷弘	
	五四三・〇〇〇	幼年部アダマンチーナ校
	高野とし子	

短評

○アダマンチーナは豆弁士から中等生に至る迄すごい迫力がある。お話会（ベんろん）に対して伝統的な強靱さを持つて居り、マイクがなくとも充分聴衆を引しめる音量と話術をもっている。聖徳学院もアダマンチーナに可なり肉迫している。僅かな差で優勝を逸しているが、共にバストスに強敵であった。バストスは日語校開始以来初出場なので、出演弁士をはじめ、先生方にはよい参考になったであろう。中等部で一位をとった古賀清美さんは出色の出来であった。バストス幼稚部の信太えみ子さんは、折悪く病臥中で、医者に安

静を命じられていたが、矢も楯もたらず、出場時間だけリゼンサをもらって、ママイにつきそわれて壇上に立つたのである。「よくばり大」を一生懸命に演じたので、筆者は最高点をつけたが、入賞を逸したのは残念だった。しかし、お話大会にかけた執念の強さに胸打たれるものがある。バストスの弁士よ、ライバルを目標に練習をばげむ可し。大声を発する稽古、からだを楽にして声調（声の高低）を研究すれば、ライバルおそろるに足らず。……

評は糸音

御禮

去る九月五日夕景六時頃よりグロリアI区第一組付近に野火発生し、次第に猖獗を極め拙宅付近のマツトに飛火し、鶏舎も危険に晒されようと致しました。その節付近の御方々は去うに及ばず、遠くシダーデの方からも多勢の方々御出で下され、消火に御尽力下さりましたので、さしもの猛火も夜半近く鎮まり、鶏舎もさしたる損害を受けず、御援助によるものと深く深く御礼申し上げます。

グロリアI区

桑原久次郎

グロリアI区の皆様
グロリアII区の皆様
中央区の皆様
その他の各位

御禮

金一封宛

故本田正雄氏御葬儀の節香奠としまして御寄附下さいました。故人の御冥福を心より御祈り致します

一九六七年九月一日

ファルツコーラ区 会
クルベテ、アグリコーラデファルツコーラ
ファルツコーラ農友会婦人部
本田たね子様

御禮

去る九月三日バストス生長の家会館に於て開催致しましたパウリス夕日語普及会主催の第六回児童お話大会の際左記の御方々の御芳志に依り、各賞品の御寄贈を頂きました。尚大会式場の整備後片付け其の他諸事の労務をバストス生長の家青年男女の方が御奉仕下さいました。又当日の各役員方の一方ならぬお骨折りと御来場賜り、また皆様の御愛念と御厚意により、豆逆手達も大変な張りきり様で熱弁を振い、全逆手が良好なる成績を挙げ大成功でありました。斯の如く素晴らしい成績を収めました事は偏に皆様の深甚なる御愛念の御蔭でありまして、主催者一同感謝と感激で一杯であります。茲に謹んで御禮申し上げます。

- 会場は誌友会の御厚意で無料提供して頂きました。
- 最高点賞寄贈 ツッパン市 武藤末吉様
- 団体地位賞寄贈 バストス 小 沢 勇 様
- 全才二位賞寄贈 バストス 小 沢 将 男 様
- 全才三位賞寄贈 バストス 真木諭吉様
- 参加賞 寄贈 南米銀行 バストス支店様
- 各部の副賞寄贈 ハストス 丸 山 敦 様
- 各徽章のヒッパ寄贈 バストス 小茂田商店様
- 各個人賞メダル寄贈 アダマンチーナ同語校様
- 全 ツッパン聖徳学院 様
- 全 ツッパン・ルンビニ学院様
- 各賞状用紙寄贈 バストス 小沢将男様
- 右の通り厚く御禮申し上げます。
- パウリス夕日語普及会会長 柳 森 優
- 副会長 城 戸 虎 雄
- 真木諭吉

市役所より通告(下段葡文意識)

農耕地の所有者に御通知致します。バストス市役所に於てはコントリビューション・メリヨリア(元の通行税)の徴集を實施して居ります。尚又第一分割徴収は九月三十日迄です。すから御承知下さい。二十アルケル以上の地主に対しては本年十二月卅一日迄の第二分割払があります。詳細は、徴税係アルゲルド・パスカリス氏へおたすね下さい。

九月六日

御禮

去る九月五日夕方より激しい野火が起りました。此皆様の概敏なる御尽力により無事鎮火いたしました。一時はどうかなることかと案じましたが、御蔭様で何等の損害も受けませず、誠にありがとうございます。一々御禮に参す可きですが御尊名も判然としませんので失礼乍ら紙上で厚く御禮申し上げます。

各位様

ガロリア工区 鶴 義 雄

御禮

一金貳百コントス也。貴下御発病後誌友会員、青年会員、白鳩会員一同神癒祈願致し、一日も早く御全快を御祈り致しました。此早期全快を祝われ當會に御寄附下さいました。深く御禮申し上げます。

内馬場七郎様

バストス生長の家誌友相愛会

AVISO

Levo ao conhecimento dos Senhores Proprietários de Imóvel Rural, que a Prefeitura Municipal de Bastos, já está efetuando o recolhimento de CONTRIBUIÇÃO DE MELHORIA (antia TAXA RODOVIARIA). Outrossim, esclareço que o prazo para pagamento da primeira prestação vai até o fim do presente mês sendo que a segunda prestação com vencimento para o dia 31 de Dezembro do corrente ano, para os proprietários cuja ultrapasse os 48,40 has (20 alqueires)

Lancadoria da Prefeitura Municipal de Bastos - aos 06 de Setembro de 1967.

Alguerdo PasKaKulis Lancador Municipal

ポツンスデカルグス 温泉旅行記(続)

浅田 孤舟

瀬戸物の浴槽に、一時半位いのトルネ
 ーラから出る湯は無色透明できれいな湯
 だ。先ず湯舟を洗ってタンバをし、湯を
 一杯張って入浴、仲々快滴でサボン等は
 いらぬ位いつるつるした温で、良い心地
 で入浴をすませて出て来たが、何と一同
 の顔の色がピカピカ光って艶が出ている。
 胃腸によいと見え、腹がペコペコになっ
 て来たので、ホテルへ帰って森下氏、星
 島氏と、温泉の感想談になつたが、結局
 ムイトボンと意見一致、森下、星君と同
 道、街の中心地へ一寸出かけたが、中心
 地の商店街には、何んでも品物が揃つて
 いたが、非常に値段が高い。
 尤も、聖市より仕入れても五時間も掛
 る遠い処だから、無理もないことと、早
 々に引き上げて来た。六時半に夕食とな
 ったが、四五組のカザード、ノーボ組がサ
 ロンでステレオを掛け居り、ムード満点
 という可きか。

るので、早く就寝することにした。
 翌くれば廿六日、今日は愈々最後の日
 だ。マイアミホテルの二階堂氏の案内で
 、バスで街を見物に行くというので、一
 同乗り込み、キリストの御像の建ってい
 る山の途中まで登って一と休みした。こ
 れまで行くとするれば、往復三時間は掛ると
 いうので下坂し、再びバスにて街へ出て
 水晶加工品売場に佇ち寄り見学。種々の
 美しい品物があるが、値段が非常に高い
 ので一寸手が出ない。
 それでも婦人連中はレンフランサなど
 を買い、次に行つたのが市立公園だ。
 色々の花が植られて手入れされてあり
 小さな池にパットマレットカ等泳いでい
 た。一番高い所に立派な水泳プールがあ
 り、青々とした水は清涼である。横側に
 疫球のコートが三ツ程並んでいた。
 約三十分程して名物の龍見物へ行く
 。街道より一寸下つた処に夫婦龍と云
 われる龍がある。ニツ並んで落下してお
 り、龍壺は相当深そうに青々として、
 水はきれいだ。約十米くらい置いて今一
 ツの龍があり、三ツより成立美観は亦
 見飽きない。夜は電気照明装置がしてあ
 り、より以上に美観だと二階堂氏の説明
 があつた。次に水源池へ行つたが、奥行
 が六キロ米ある由で、周囲には徐々に遊
 び場が建設されつつあつた。

Balcock

バスコック

B-300 産卵鶏 3-390
白卵 赤卵



HOLZGREFE

ホルツグレッフェ

肉用鶏

産業組合中央会
 ヒナ注文申込又御問合せは
 バストス産業組合

世界的経済鶏

次に行つた所は草花の展示場で、中に、入ると蘭と高原特有の草花が置かれてあり、井上氏大倉氏等は蘭を土産に買われた。婦人達も種々草花の苗を買い、帰途水晶加工場を見学し、十一時にマイアホテルへ帰館、一同朝食をして買物に出かける人もあり、各自それぞれ私用をすませて荷物バスに積んで、二階堂氏に導く禮を述べ、ホテルの人に送られて出発したのは廿六日の十二時半であつた。帰途は道を変更して、カンピナスから行くとな手に当るサツジヨングベラビスタと云う可成大きな街を通過して、カアザプランカに出て、一路ジャウヘとバスは快走。セアラサで仕入れた林檎の配給があり、車内では婦人連中が唄い出し、一同和気霽々の中にジャウヘに着いたのが五時半で、此處まで来ればバスタスは近いと、一同ホッととした様に見受けられた。パウルーへ向う途中大きなガソリンスタンドで停車して、マイアホテルより持参のサンドウィッチ、コココーラ、グワラナ等を飲み乍ら、パウルーへ七時半着。

バスは一路マリリアへ向い快走、マリリアの一寸手前に有るプラッタオニブス会社経営のバールで停車して買物などをして、バスタスへ帰着したのが丁度二十日午後十時十五分、一同安着を祝い合ひ、各自帰宅した次才であるが、省り見に、二十日夜七時半バスタスを出発して、二十六日午後十時半バスタスへ帰るまで三泊五日の旅行は、婦人達には一寸無理かと思われたが、一同元気で満足して帰られたのは真に祝着の上もないと思ふ。

一行三十九人の大団体であり乍ら、一糸乱れぬ統制かとれ、テキハキと行動出来たことは、組合長井上氏夫妻、大倉氏夫妻、本田団長夫妻に負うところが多し。短い期間に見たい所を見、行きたい所へ行くと、いふ事は仲々出来ぬ芸当だが、見事アビコー組合は実行したのだ。さうと組合員主婦の方々も満足された事と思ふ。

私も行を共にして、感謝した次才である。帰途車中で本田団長より、一筆書いて週報社へ、と依頼され、一應辞退したが、見たまま、有りのままの報告で良かったと引受けたまでは良かったが、廿六日に帰つて三日後、本田氏は急病、ドトルパウロ口同道、飛行機でパウルーの病院へ入院という、夢にも思わぬ出来事で、私も気が気でない。紀行文どころか、毎日電話とか見舞にパウルーへ行かれた人達から本田氏の容態を聞いて廻る有様で、本田氏の亡くなる前日、前日の晩、大分容態も衰へたとの電話があり、由、ホットした次才であつたが

嗚呼、何と云うことか、翌日亡くなるに、只々呆然自失という有様で、遂に旅行文も置れた訳だが、本田氏の約束であり、大倉氏も森下氏も是非書いて呉れとの事で、有りのままの旅行記を拙い文章にまとめ、みることにした。終りに臨んで本田氏の冥福を祈り、を願く。

一九六七年八月十五日

御禮
金一封

右は故本田正雄様の香奠返しの意味で当区へ御寄下せました。御礼を申上げると共に御冥福を御祈り申上げます。

本田たね子様
アルト区

御禮

金一封

故本田正雄様の御葬儀の節香奠返しとして頂戴致しました。誠に有難うございました。

本田たね子様
プログレッソ区

御禮

拝啓長らくのセツカ続きですが皆様御変りはありませんか、御伺い申上げます。扱て、私事去る六月下旬より約二ヶ月半にわたり病氣静養中のごさいました。此、その間皆様より御丁寧な御見舞を若うし、或は激励の御言葉を頂き身に余る御親切があり、たく感謝致します。御養を以て其の後快方に向いました。尚養生に努め居ります。故何卒御休心下さる様、右取あえず御禮申上げます。尚一々拝廻の上御挨拶申上げねばなりません。が何分思うに委せず失禮を重ねて居ります。右事情につき御海容の程願ひ上げます。

一九六七年九月三日
内馬場七郎
家族一み也同

シマールカラ区御一同様
アア産組バスと倉庫御一同様
バスタス日伯文化協会様
バスタス乗剣道連盟様
生長期バスタス談友会様
生長期バスタス青年会様
バスタス存在住各位様

日語校のお話大会に出場して

梅津愛子

パウリスタ日語校のお話大会は、今年で六回目でしたが、バストス日語校は初めて出場しました。パウリスタ日語校の役員会のある会合の席で真木会長がバストスを開催地にするに引受けられた事をきいて、実の所お話大会はあまり嬉しくありませんでした。

入植祭の爲の絵画教室や絵画展もあつたりして、そちらの方に力を入れ、お話会は割合軽い気持ちで居りました。八月に入ってからは、お話会にはバストスでやるのに、地元が出ないわけにはいかないというので、嫌がる生徒に原稿を押しつけるようにして、少しづつ練習を始めた訳でした。こうした経験は初めての事として、生徒達に原稿を暗記させ、決めた時間内にお話をする稽古をして居ましたが、開催一週間前の日曜日に、お話大会の爲の最後の会合がありました。初めて詳しい規定のある事を知り、各部四名づつの出場、少々あわて下ら一部不足している部門の所を埋める爲、あちらこちらと歩いて、人を探したり、練習して出場する心算でいた人を断つたりして、何かと規定にこぎつける様努力して参りました。

そして最後の五日間を、開催予定の会場をお借りして練習しました。数名の父兄達に見て頂き、種々の点を注意して下さったので、少しは上達したものの、自信のないまま当日を迎えました。

当日は、みんな一生懸命、お話をしてくれました。初めての出場なので、入賞などは考えず、只、参加できたという事だけを収穫として居りました。然が、最後の成績発表の時、一位になった者もあり、二位になった者もあり、嘘ではないかと思う程、目を白黒させ乍ら、驚きの目で見ました。先生も生徒も、此の時のお話大会に出場して、他校の生徒のお話を聞いたり、審査員の方の感想を聞いたりして、沢山学ぶ所があり、又来年は、もっと頑張って出場しようという意欲が湧き起ったことと思ひます。

お互いによい勉強であり、よい経験であったと思ひます。お話大会も無事に済み、後片付けをして、家へ帰って夕暗のせまる頃、空を仰ぎ乍ら今日一日を思い返すと、肩の荷が全部取り除かれたような気分、何となく心が軽く、又、ほのかな喜びが心の中を駆けめぐって居りました。

「あ、よかったよ、よかった」と安堵の胸をなでおろした事でした。又それだけに私達にとっては何れも重荷でありました。最後に、お話大会の爲に(特に、いろいろな準備)蔭の御配慮を下された方々に心からなる感謝を捧げつつ、ペンを置きます。

お知らせ

生長の家講演会

名講師の誉れ高い塩見先生が十数年振りに御来講下さいます。

人世の幸福繁栄治病の根本原理をお話し下さいます。皆さん御誘いませ御来聴下さい。

場所 生長の家バストス会館

日時 九月十六日 廿時

講師 塩見虎造先生

私は敬びと熱意をもって前進する

善意の種小さくとも大きく生長する
(谷口雅春先生の著書より)

バストス短歌会八月例会作品

八月二十日 森重居にて

おどろく虚無感に耐えむ凝視する
壁面にながく守宮うごかず

あられたなる気負いもちて朝毎に
向う机辺はわが城郭にして 勝甫

もの言わぬ胸像なれば寄りゆきて
人等自在にカメラを向くる

生前に言葉まじえし人なれば
建っ胸像に湧く思いあり 羊鈴

血圧に倒れし父の眠るごと
逝きたることを慰めとして、

蚕にかけたる一途心の教わかれ
賞状の額はわが手に重し

偉大なる野人弓場氏の銜いなき
串餅に満場は共感の溜息

急坂を落ちゆく如くなりしという
資産譲渡の署名の日より

九月七日

祝 伯国独立祭

バストス週報社

家内の停年病気

福 瀧 温

日本式に言えば、今年はず度私の停年の年である。嫌が意でも仕事を離れねばならない年令だが、茲ブラシルでは、其の規定はあるが、それ程嚴重には施行されていらないので、皆呑気に構えて居られる。私の場合は既にもう七年も失業者の味を嘗めて居るので、別にどうこうはないが、之が日本であつたら大変な事であらうと、折々話して居る。

私は元來餘り丈夫な方ではないので、亦っ児が一人前になる迄は何として生きて居てやらねばならないが、それ以上は生きられるかどうか判らないので、皆当にはするなと、兼々家族中に申し渡して来た。人生僅か五十年というのだから、五十以上生きられたら、それは儲けものと言ふ次第である。従つて、もう五年は儲けた訳だ。其の上、昨年結婚した娘が今年二月頃には初孫を贈つてやるというので、どうやら自分も、人並に生きて居る中に孫を持つてゐる事になつたかと、澁々と感慨を深くして居た。

それで娘の初産には家内が手伝に行つてやらねばならぬという。娘も當にして

洗卵機

五台限り

好條件で差上げます

ゾーサナ家畜製薬会社

トリミックス

養鶏家必備の

産卵促進剤

バストス代理人

丸山 敦

バストス入植

四十周年の企画

来年のバストス四十周年祭を「三日間」と、理事会にて議りました。その行事一切に關しては、在住の皆様より企画案を戴きたいと存じます。ふるつて良案の提出を、お願い致します。

市役所への申請も、来年の豫算編成前に提出せねばなりませんので、締切期日十月末日までのこと。

バストス日伯文化協会

答案受付

前山 義雄
小沢 光明
阿部 新藏

肥料なら

マナー印

絶対的信用を保持して斯界に君臨しています。

確実な収穫をお望みになるなら、先ずマナー印の肥料を。御用命は

太郎田屋嘉右衛門へ

雨が降らないので水が涸れ相です。

ETERN 1 1 印の

タンケ

が着きました。水不足を嘆く前に一つ買って見ましよう。

百・二百五〇・五百
一千リットルと四種類あります

太郎田 商店

CASA TARODA

TANQUE DE AGUA

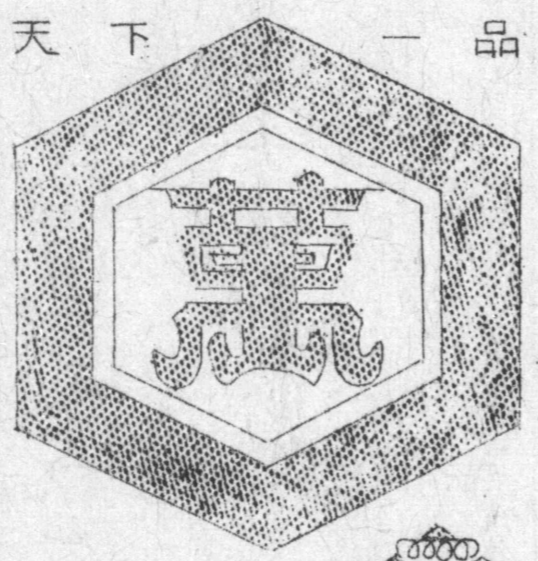
ADUBO "MANA"

いた訳だが、其の家内はアラジル語が全
全出来ず、加えて丑年であるので足が至
って遅く、急ぐ間に合わない。そんな場
合の走り使や、病院へ行き帰りのお供に
私が附いて行く事にした。
ぞうすると家に残るのは男の子許りで
女手がなく、而も皆就職して居るので
留守番がない。致し方がないので、丁度
学校も休暇中故、親戚の姓に手伝いに来
て貰うことにして、一月中旬私が迎えに
行って来た。

夜、一月廿日のこと、明朝は早立ちと
決めて、荷造り端整えて寝に着いた処、
夜中過ぎ、家内に叩き起きた。何うし
たのかと聞けば、背中が物凄く痛んで、
逆も寝ていられないという。早速起きて
痛み止めの薬を吞ませ、背中の痛む処に
指圧を加えてやるが、仲々痛みが止らな
い。舐て東が白みかけて来る頃になつた
ら、背の痛みが前え廻り、下腹辺が痛ん
で来たという。大体家内には膀胱炎があ
り、毎年の様に二三月頃には出て来るの
で、膀胱の再発であるうという事になつた。
膀胱炎なら医者に処方して貰った良い
薬りがあり、大抵四五日でケロリと治る
ので、二三日の辛抱と其の薬を吞ませた
が、今度許りは痛みが止まらぬ。
外かは何ともないので、痛みさえ止ま
れば直ぐ上聖する考えで、荷物はその終

放置しておく。ああだ斯うだと色々手
を置いていたが、どうも何時もとは様子
違ふのに気がついた。
是は医者に看せねばなるまいと言え
家内は、お医者で判らるうかかと来た。
医者で判らねば誰が判るのだと叱り付け
たが、これには後日思い知らされて、も
う少し慎重に考える可きだったと悔んで
いる。故て、医者は病状を色々聞いた上
で診察は可成丁寧にして呉れた。尿の検
査などもして薬を呉れたが、今度許りは
一向判然としない。それで医者の指示で
腎臓のX線の寫眞を撮り、ラボラトリオ
で尿や血の検査をした。処が、尿に幾分
の血と膿が出て居るが、何よりも血沈が
高いと検査医が驚いて報告してくれた。
家庭医書を読むと、血沈の高い時は何
をおいても先ずオーに、結核と癌を疑
てかかれとある。さすれば手選れになる
事が少ないと。さあ、大変な事になるか
も知れぬぞと、心配になつて来たが、癌
には普通熱は熱が出ないと云う。
家内には毎日、七度二三分位の微熱が
あるので、これは癌ではないだろうと思
像した。癌でなければ結核性だろう。結
核なら現在には良い特效薬があるからと内
心安心した。
処が医者はさういう疑いに対して適切な
処置をして呉れない。シヤツパを見て、

天下 一品



さしみの

いつも食卓には
日本の味を……

キッコーマン醤油

バストス特約店

前山商店に

あります

Kikkoman



お相手にはぜひ……
十八ヶ月間じっくり育てた純醸造の味と香り
キッコーマンは日本で生れた(世界の調味料)です

輸入元 遠藤貿易株式会社

九月十二日(火)十三日(水)両夜とも八時
東宝 天然色 社長外遊記 森繁久弥 三木のり平 新珠三千代 草笛光子
小林桂樹 加藤文介 藤山陽子 フランキ堺
椰子の木蔭で仕事はハッスル、浮気はムード、ワイキキ美人を英殺する大型喜劇

日本の上庭園 全世界にブームをつくらした日本の造園美
OSTRES GENIOS

九月十五日(金)八時十六日(土)九時半十四時
東宝 馬鹿と鉄 伴淳三郎 高島忠夫 有島一郎 北あけみ
池内淳子 小沢昭一 新藤英太郎 田村奈巳
ネタはデッカイ新空港、セニはガッポリ五徳内、爆笑の決算報告!!

九月十七日(日)九時半、十八日(月)八時
松竹 天然色 ハイウエイの王様 坂本九 谷幹一 加賀まり子
香川美子 九重佐美子
恋の一方通行、ゴメンナサイ、制服の九ちゃん大活躍!

九月十九日(火)二十日(水)両夜とも八時十八時
日活 アリバイ 二谷英明 小高雄二 渡辺美穂子 ALIBI
郷 鉄治 土野山功一 宮下権二

九月廿二日(金)八時(廿三日(土)九時半
東映 天然色 丹下左膳 飛えん居合斬り 中村錦之助 大友柳太郎
波うん万丈息もつかせぬ大殺陣、御用提灯の火の海に、なにを笑うか斬り左膳……

九月廿四日(日)九時半廿五日(月)八時半十時
東映 天然色 真昼の決斗 千葉真一 大木実 高倉健
高倉、千葉が日本↓台湾を↑走る大アクション(カミカビ野郎)

九月二十六日(火)二十七日(水)両夜とも八時
松竹 天然色 ふりむいた花嫁 伴淳三郎 信賞千恵子 桂小金治
山本豊三 芳村真理 淡島千景
純情娘の初恋、頑固親父のよろめき、明朗下町喜劇の決定版!!

Aviso de Cine Bastos

リマチかも知れぬと其の薬を処方して
くれた。それで背中痛は止つたが、下
腹の痛みは止まらず、微熱と血沈も良く
ならない。此の医者では増があかぬか
知れない。医者を替えて見ようという事
になり、リンス市の評判の良い臨床医に
かかる事にした。発病から大方一月たつ
た頃である。

此の医者は、今迄の経過を聞いた上で
肺と大腸のレントゲン寫真を撮れと言う。
何れも異常なし、微熱と血沈は依然とし
て同じなので、結局腎臓結核と判断して
其の手当を始めた。その結果、血沈はぐ
んぐん下つて来たが、微熱の方が一向と
れない。五日位の週期で三十七度四五分
の熱が繰り返して出てくる。医者も頭を
傾げていたが、一ヶ月位たった頃より家
内は、頭がフラフラすると訴え出した。
歩くのに歩行が定まらない。一寸した事
でも直ぐに転びかける。何かに纏らなけ
ればウツカリ歩かれない。寝ていても頭
を動かすとクラクラして眩暈がすると言
う。医者は行く度にその事を訴えるが、
親者は薬の所為だから心配は要らないと
三通り位の強い薬を併用服用していた。
大方二月位経った頃になつても一向判
らないので、医者も今度は本氣に頭を傾
けた。

三ニサイアが良いかわるいか。フランス
の或るデザイナールが一寸とした思いつき
で、たいした事だが世界中を風靡しちや
つたのだからから恐ろしい。フランスのよ
うに暑い国では短スホンのようで、悪くな
いが、さげはソ連やスカンジナビアのよ
うな雪の国でも流行っている。そのうち
外套の裾から大根足、スラブ大根という
色気と二ろが、ハツとして、こっちまで風邪
をひきこらうぞ。

日本でもだいたいぶスカートをつめて勝上
二十センチとか三十センチとかがトップモ
ドというが、奥さん方が勝小僧をガクン
ガクンと曲けて歩くのを見ると、大丈夫
かなって見ていの方お心配だという。
そこ三ニサイアに抵抗を感じるの
同性のインテリで、ガンガクの論陣を張
って男性を刺激するのは、罪はミニスカートに
ありなごといつてる間に、気がついた時は何々
となつてしまつて、気がついたら何々
女史もいつのまにか勝小僧が恥かしそ
うに似合っていた。奥様はモクンだからよ
くお似合ひです。など、あおられるよ
うかおなごさん短かくなる。流行に
は勝てない。

三ニスカート論、是非か
三ニサイアが良いかわるいか。フランス
の或るデザイナールが一寸とした思いつき
で、たいした事だが世界中を風靡しちや
つたのだからから恐ろしい。フランスのよ
うに暑い国では短スホンのようで、悪くな
いが、さげはソ連やスカンジナビアのよ
うな雪の国でも流行っている。そのうち
外套の裾から大根足、スラブ大根という
色気と二ろが、ハツとして、こっちまで風邪
をひきこらうぞ。

此の医者は、今迄の経過を聞いた上で
肺と大腸のレントゲン寫真を撮れと言う。
何れも異常なし、微熱と血沈は依然とし
て同じなので、結局腎臓結核と判断して
其の手当を始めた。その結果、血沈はぐ
んぐん下つて来たが、微熱の方が一向と
れない。五日位の週期で三十七度四五分
の熱が繰り返して出てくる。医者も頭を
傾げていたが、一ヶ月位たった頃より家
内は、頭がフラフラすると訴え出した。
歩くのに歩行が定まらない。一寸した事
でも直ぐに転びかける。何かに纏らなけ
ればウツカリ歩かれない。寝ていても頭
を動かすとクラクラして眩暈がすると言
う。医者は行く度にその事を訴えるが、
親者は薬の所為だから心配は要らないと
三通り位の強い薬を併用服用していた。
大方二月位経った頃になつても一向判
らないので、医者も今度は本氣に頭を傾
けた。